

ひとり1改革運動

「経費を節減しよう」改革賞

地下水観測で低コスト電池を使用

【くらし・環境部 水利用課】



県内の多くの箇所に地下水位の観測機器を設置していますが、うち7ヶ所では1年毎に電池交換を行うため高価な特注のリチウム電池を使用しており、より安価な方法への転換が課題でした。

そこで、観測機器の老朽化により2ヶ月に1度保守作業が必要になったのにあわせて、使用期限は2ヶ月間と短い安価な市販のアルカリ電池に切り替えて、保守作業と同時に電池交換を行うようにしました。

その結果、経費を年間で約30万円節減することができました。

取組にあたって留意した点は？

・観測機器自体の更新も検討しましたが、機器の機能は問題ないため、電源の代替のみ実施することにしました。また、観測所は僻地や林の中にあるため商用電力や太陽電池の使用は難しく、乾電池の使用が必須でしたが、観測データの欠損が起らないよう、電池切れに留意してその交換時期を設定しました。

職場全体として改善を進めるための工夫は？

・従来、観測機器の管理等の細かい仕事は担当者だけで対応していましたが、班制の導入に伴い複数の班員が携わるようになり、今回の取組も班員の話し合いの中から実施に至っています。



【電池交換の実施】

静岡産業大学大坪学長から一言

保守作業に併せて電池交換を実施して、費用の安い電池でもこれまでの機能を継続させています。点検時期に電池交換も合わせるというちょっとしたアイデアですが、上手くコストを下げる効果に結び付けています。

ひとり1改革運動

「経費を節減しよう」改革賞

審査・申請システム端末機器等の賃貸借料の削減

【健康福祉部 薬事課】



審査・申請システムの運用の効率化のため、国が管理するターミナルサーバのほかに県独自でシステム用データベースサーバをレンタルで設置していましたが、ターミナルサーバの性能向上により独自にサーバを設置する必要性が乏しくなりました。

そこで、独自サーバの調達を取りやめるとともに、これまで単年度でリース契約をしていたシステム端末機器についても、4年間の長期継続契約に変更しました。

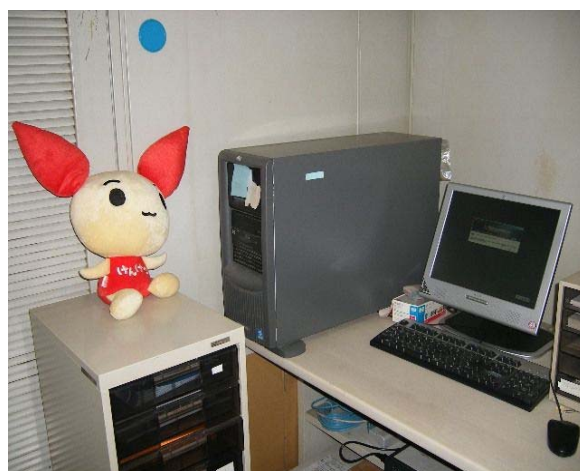
その結果、経費を年間で134万円節減することができました。

取組にあたって留意した点は？

・データベースサーバを撤去してもシステム運用上の影響がないことや、長期継続契約を行う4年間にシステムの大規模な改編予定がないことを国に確認するなど、契約の変更により業務に支障が生じないように留意しました。

取組の効果として実感していることは？

・データベースサーバ撤去に伴うデータ移行作業に42万円の費用がかかりましたが、それを踏まえても大幅な経費の節減が可能であることを事前に確認しています。また、1日16時間稼動していたサーバを撤去することで電気使用料の削減も見込めるなど、一つの改善から多くの効果が発生しています。



【撤去したデータベースサーバ
(中央)】

静岡文化芸術大学田中准教授から一言

事前にサーバ撤去に伴う費用対効果を勘案し、さらには、業務面で支障が生じないことを確認した上で見直しを実行に移している点が大変優れています。一般的に、毎日当たり前のようになっているシステムを見直すのは、意外に難しいことだと思いますが、契約の更新時がその機会であることをこの事例は示しています。

ひとり1改革運動

「経費を節減しよう」改革賞

農林土木工事による耕作放棄地の解消に向けた取組

【志太榛原農林事務所 農村整備課】



耕作放棄地の再生には草刈、伐採等の多大な労力が必要ですが、離農者や地元組織だけでは困難でした。一方で、農林土木工事の請負業者の中には社会貢献活動への意欲が高い企業もありましたが、そのきっかけや場所探しに苦勞していました。

そこで、農林土木工事を実施する中で耕作放棄地の草刈等に協力してもらう仕組みを構築しました。

本取組により、年間約300万円の経費節減が見込まれるほか、より多くの耕作放棄地の解消に向けたきっかけとなることが期待されます。

取組にあたって工夫した点は？

- ・工事成績評点の「地域への貢献等」の項目に“耕作放棄地等の解消に向けた取組”を追加して、活動を行った請負業者にも具体的なメリットが生じる仕組みとしています。
- ・各市町の農業委員会を介して耕作放棄地の紹介等を行い、土地所有者と請負業者との間で農林事務所を立会人として協定を締結することにしています。

取組にあたって留意した点は？

- ・本取組は農林土木工事担当部局だけでは不可能であり、他部局や各市町の農業委員会と連携するとともに、建設業協会の協力を得て実施しており、事前に関係各所に説明をして、賛同を得るようにしました。



【請負業者への説明会の光景】

静岡大学日詰教授から一言

耕作放棄地の再生はとてもやっかいなものですが、農林土木工事を実施する中で、請負業者に社会貢献活動の一環として草刈等に協力してもらう仕組みを構築したことは、創意工夫された優れた取組みだと言えます。このような取組によって県、請負業者、耕作放棄地所有者の三者が得をする関係ができ、今後も他の農林事務所にも波及することを期待します。

ひとり1改革運動

「経費を節減しよう」改革賞

県庁案内をより親しみやすく華やかに

【企画広報部 広報課】



県庁案内所では、来庁者に親しみを持ってもらえるように静岡県産の花を購入して飾っていましたが、より親しみを持ってもらうことが課題でした。

そこで、静岡農業高校の協力を得て、生徒が栽培した花をその栽培風景の写真とともに案内所のカウンターに設置しました。

その結果、来庁者にも好評で、経費も年間約20万円節減することができました。

取組にあたって留意した点は？

・県庁案内所は直接日が当たらないため、昨年度に試験的に実施してどの花が設置に適しているかを踏まえた上で、高校側に花の年間提供計画を作成してもらいました。

取組の効果として実感していることは？

・年配の女性の方からが多いですが、立ち止まって花を見て感想を言ってくれる来庁者を見かけるようになりました。それ以外にも、高校生が栽培した花をきっかけに会話が生まれるなど、来庁者の不安を取り除く効果あると思われます。

・生徒からも、花が飾られることが励みになり、県庁を身近に感じることができるようになったとの感想をもらうことができました。



【県庁案内所に設置した花と写真】

静岡文化芸術大学片山准教授から一言

来庁者に親しみを持ってもらう、という本来の目的を向上させるための工夫が、結果的に経費節減にもつながった好例です。最初に経費節減策を考えるよりも、政策効果を向上させるための様々な選択肢の中に、改革の方向性を見出していくことが重要です。

ひとり1改革運動

「経費を節減しよう」改革賞

啓発資料の一括・統合化

【文化・観光部 大学課】



人づくりの啓発資料として「人づくりハンドブック」と「人づくり実践事例集」の2冊を使用していましたが、ハンドブックの活用に手一杯で、事例集までは十分に活用できていないとの声がありました。

そこで、2冊の内容を精選した上で、ハンドブックの中に実践事例を盛り込む形で、1冊に統合しました。

その結果、より使いやすくなったと好評を得たほか、印刷と発送にかかる経費も年間で約50万円節減することができました。

取組にあたって留意した点は？

・盛り込みたい内容を全て盛り込んで、2冊分のボリュームの冊子としてしまっただけでは本末転倒なので、情報量を増やしすぎず、精選した上で1冊にまとめることに留意しました。特に、これまでA4版であった事例集を新書サイズに内容を損なわないでコンパクト化することに苦労しました。

今後に向けてさらなる取組は？

・県民の皆様がそれぞれの地域や立場での人づくりを実践されるよう、より効果的な配布先を開拓していきたいと考えています。



「2冊に統合した「人づくり」ハンドブック」

静岡産業大学大坪学長から一言

統合するとき、使いやすいように利用する側の視点で再整理。これが改革の心です。コストを下げただけでなく、満足度を向上させたことが素晴らしいです。

ひとり1改革運動

「経費を節減しよう」改革賞

電気使用の見直し

【農林技術研究所 企画調整部】



所内には分析機器や実験用冷凍・冷蔵庫など電気を使用する様々な機器があり、昨年度の電気料金も1,500万円に上るなど、電気料金の削減が課題となっていました。

そこで、所を挙げて「電気料金削減運動」に取り組むこととし、具体的には、電気機器の使用状況を一覧にして把握し、職員の話し合いのもと、重点項目を定めて削減に取り組みました。

その結果、4月から6月までの3ヶ月間で約90万円を削減したほか、年間では約150万円の削減が見込まれます。

取組にあたって留意した点は？

・「電気料金1割削減」を目標に掲げて、職員一人ひとりの努力が研究費となって還元されることをアピールして、やる気を喚起しました。また、所内に14あるメーターごとに毎月の電気使用量を把握し、取組の進捗状況を分析するとともに、前年比を職員にも伝えることで、やる気が継続できるよう留意しています。

今後に向けたさらなる取組は？

・農林技術研究所には、本所とは別に4つの研究センターがあるため、本取組の成果を各研究センターに情報提供して、農林技術研究所全体の取組に拡大していく予定です。

静岡産業大学松本准教授から一言

経費節減を実現したことに加えて、目標や現状の「見える化」、職員が一体となった取組、研究費として還元する仕組みの構築などが素晴らしいと思います。良き見本となる事例でしょう。

